

外務省 内務省 逓送省 兵部 航海部 有來機 法律課 規務課 法務局 經理局 扶理部 交通部 郵傳部 人務部 人務部 資材局 渉外課 總務局 總務局 史實部 史實部 翻譯部 翻譯部 文書課 文書課 大官 大官

至急電報

克次官

總參三電第八六號

總參三電第五七號 閣下

命令 軍補字第九八號 要旨

中國戰已日本徒手官兵服役辦法要旨中第四項ヲ尤ノ痛
 修正ス

日本徒手官兵ノ主副食ハ規定ニ基キ受降區ニ於テ準備スルニ
 既ニ復員ヲ完結シタル者服役ニ派遣セラレタル時ハ使用部隊或ハ

(一八)

0318

使用機関派遣請求の際日付管理處(所)に補給方法を協
定し其の主副食管理處(所)より引継支給スルカ或は使用
部隊が使用機関に於て引継ぎ支給スルカを明白に定ス
但し未だ復員完結シテラスレテ直接に徵用サレル日本兵
ハ徵用部隊或ハ徵用機関より直接責任ヲ負ヒ服務完
了復員完結等ニ入ル日迄支給スルモノトス
右主副食ハ服役日本兵ヲ自炊セシムルコトヲ得

通電先 次長、各軍

終

0319

第二復高自留ヨリ廻付

一 昭和
二 九〇
〇 〇 一
七 六 二
二 〇 二
五 〇 二
八

0320

陸軍次官

發 鹿 島

報 海軍省醫務局長 陸軍省醫務局長 陸軍省醫務局長

第二八二六三〇番電

發 第一八軍第一次歸還部隊隊長 陸軍省

六 軍中第一次歸還部隊隊長 塚本中佐以下 一二三〇名 (連軍

部隊(ミ)十一月二十日 鹿島ニテコエトギアル發 内

入隊患者 戦病一五〇 戦傷五〇名

入隊患者ノ状況左ノ如シ

① 監司令官 各師團長 各師團長 各軍醫部長

健康ニテヲ將其ノ志氣旺盛

(四) 員方一二七三名 (第一次歸還部隊ヲ合シ) 内陸軍

一〇四八五名 海軍一三四六名 何レモ体力低下シテ
其ノ概要左ノ如シ(数字%) 比較的健康ナル者
二〇 輕キ作業ニ堪ル者二〇 輕患者二〇 要入院患
者三〇

右健矢ト雖モ全真月一週乃至二週ヲラヤシク熱下ハ

(イ) 重ハ九月下旬トハレニ島ノ機動開始ト十月末迄迄

完了ト同島上陸以來十一月二十日現在迄ニ死亡約

五〇〇名ト計ニ重ニ症トマニヤシク榮養失調症肺氣

慢性腸炎 皮膚病ヲ主トス

(ホ) 軍ノ損耗九四% 衛生模因ノ損耗八五%

(ハ) 衛生材料ハトナニネレ以外トマニヤシク補給可ト

テリ濠洲軍ヨリノ交付ハ兵員用ノミ(後略)

トマニヤシク補給給ラ西ニス

(山) 給與、海員施ハ濠洲軍ノ交付糧秣ヲ主トシ見物物
 資ヲ併用シ糧ネ一四〇〇「コロリ」ヲ攝取シアリ
 (甲) 渡旅ハ糧ネ一割所持シアリ 上陸地ニ於テ冬
 糧ヲ交付サレ度
 (乙) 金錢給與ノ支拂ハ糧ネ船舶十九年四月以降廣
 達シアラズ 保有官金及私金皆無歸還時將其ニ
 對シテハ給與通牒ヲ所持セシメアリ 上陸地ニ
 於テ精算施ヲ廣員サレ度

(註) 電信課 本體三分一(末葉) (忍)

0322

外務省	内務省	武官省	警備省	二復省	航本	有本	法務局	法務局	法務局	經理局	扶助部	復員科	復員科	人事局	業務局	農務局	渉外課	總務局	總務局	停務部	停務部	警務部	警務部	資料課	文書課	次官	大臣
-----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

略荒

緊急電報

宛 次官

總電第三八號

總電第一電第三八九號（通註一月十二日配布）
（中） 左ノ如ク訂正項内廣

左記

三、細部ノ運輸方法ハ最寄リ第三方面通及第一戰區ト打

處理スベシ

（電註）
 一、總電第三八九號第三頁「二、南京上海地區ノ日本將兵

第三戰區ト打合處理スベシ」ヲ如ク訂正スルノ意アリ

將
 一八、一七、一六、一五、一四、一三、一二、一一、一〇、九、八、七、六、五、四、三、二、一

②



連絡

二月十四日

文書課電報班

各課(部)御中

左記電報著信シテ付心當リノ何ハ至急電報班
絡相煩度 (電話三二一六 軍用一五)

左記

宛名 第一復員省

電見タ^リ ナガラシゲタケ^レ 未^レ復員セズ^ル
發信者 アゲノセウ町長

(電註 アゲノセウハ山口縣安下庄 ナラン)

0324

略號

緊急電報

宛 次官

支那派遣軍總參謀長(南京)

總參電第一七二號

歸還輸送ノ本格化等ニ関聯

今般左ノ命令ヲ受領ス各軍ニ於テハ受降主官ト密ニ連絡シ武裝

解除及警備交代等實施セラレ度

中國陸軍總司令部命令 軍字第四八號

民國三十五年一月七日
於 南 京

一現在中國戰區内ニ在ル武裝解除未了ノ日本軍ハ本月十四日

迄ニ總テ武裝解除ヲ終了スベシ

現在秦縣南通一帶ニ在ル日本軍第九十旅團湯恩伯司令官

地點ヲ指定集中セシメ且部隊ヲ指定シテ之ガ武裝解除ヲ爲サ

照
三十一、
一、五〇、
一、四四、
一、三〇、
一、九、
一、九、
一、九、
受
九
九

ハモノトス

- 三、現在歸德一帶ニ在ル日本軍第四騎兵旅團劉峙主任地獄ヲ指定シ集中セシメ且部隊ヲ指定シテ之ガ武装解除ヲ爲サシム
 - 四、現在海州及東部離海線ニ在ル日本軍第六十五師團轄下之七十二旅團ハ顧視同主任地獄ヲ指定集中セシム且部隊ノ指定シテ之ガ武装解除ヲ爲サシム
 - 又、現在山東省内津浦線上ニ在ル日本軍第四十三軍直轄部隊第四十七師團第九獨立警備隊第十一獨立警備隊及西部膠濟線ニ在ル第一獨立歩兵旅團及上求關係内ニ在ル其ノ他日本軍部隊ハ既ニ濟南ニ於テ武装解除セルモノヲ除キ其ノ他總テ列車輸送ニ依リ直ニ濟南ニ集中スベシ(列車輸送不能ニ至ルハ徒步行軍)
- 李延年副長官 駐地指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收

0326

セシム

六、現在東部膠濟線ニ在ル日本軍第十二獨立警備隊及第五獨立旅團及右地區内ニ在ル武装解除未了ノ日本軍ハ總テ列車輸送ニ依リ直ニ膠州ニ集中スベシ(列車輸送不能ノモノハ徒步行軍)

李彌第八軍軍長 駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收セシム

七、現在河北省内北部津浦線ニ在ル第九獨立旅團及同區内ニ在ル武装解除未了ノ日本軍ハ列車輸送ニ依リ直ニ天津ニ集中スベシ(列車輸送不能ノモノハ徒步行軍)

第九十四軍軍長牟延芳 駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ接收セシム

八、現在河北省内保定一帯ニ在ル第七獨立警備隊及同管内武装解除未了ノ日本軍ハ列車輸送ニ依リ既刻北平ニ集中

0327

スベシ（列車輸送不能ノモノハ徒步行軍）

李宗仁主任 駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シテ其ノ武器ヲ
接收セシム

九 現在河北省内正定一帯ニ在ル第二獨立歩兵旅團及定縣ニ
在ル第一獨立旅團並ニ其ノ地區内ノ武装解除完了ノ日本
軍ハ即刻夫々正定及定縣ニ集中スベシ

第三軍軍長 羅歷抱 駐地ヲ指定ノ上部隊ヲ指定シ其ノ武器
ヲ接收セシム

三 現在山西省内ニ在ル第一百十四師團及第十四獨立歩兵旅團
並ニ山西省（語不明）省内ニ在ル武装解除完了ノ日本軍ハ直ニ

閻長官地點ヲ指定シ且武装解除スベシ

二 現在臺灣ニ在リ未ダ武装解除ヲ終了スル日本軍ハ即時陳
儀長官ノ指定スル地點ニ集中武装解除スベシ

0328

一、前各項ノ行動（輸送行軍集中武装解除等）ハ必ク迅速ニ
スベク期限遅延マシテ得ズ

二、一切ノ日軍部隊ニシテ運輸及行軍中匪軍ノ襲撃ニ遭遇セル時ハ
直ニ匪軍ヲ驅逐シ有ル人馬武器器材彈藥ノ安全ヲ謀リ
集中地ニ到着スベシ

三、一切ノ日本軍原警備地區ニ於テ行不能ノ倉庫ハ一律ニ封
印シ各受降主官ノ指定部隊ニ看守ヲ引渡シ倉庫位置、倉
庫内物資ノ種類、數量ヲ帳簿ヲ以テ各受降主官ニ報告シ絶對
ニ匪軍ニ交付スハ他ノ如何ナルモノニモ讓渡スルヲ許サズ

四、一切ノ日本軍原警備委任ノ警備地點特ニ縣城及大市鎮等
ハ必ク受降主官指定ノ部隊ト警備ヲ交代スベク絶對匪軍ニ引
渡スベカラズ

通電先 各軍 参予 支復、次官

(終)

0329

總參急電報

一ニ
一四
一五
一六
一七
一八
一九
二〇
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七
二八
二九
三〇
三一
三二
三三
三四
三五
三六
三七
三八
三九
四〇
四一
四二
四三
四四
四五
四六
四七
四八
四九
五〇
五一
五二
五三
五四
五五
五六
五七
五八
五九
六〇
六一
六二
六三
六四
六五
六六
六七
六八
六九
七〇
七一
七二
七三
七四
七五
七六
七七
七八
七九
八〇
八一
八二
八三
八四
八五
八六
八七
八八
八九
九〇
九一
九二
九三
九四
九五
九六
九七
九八
九九
一〇〇
一〇一
一〇二
一〇三
一〇四
一〇五
一〇六
一〇七
一〇八
一〇九
一一〇
一一一
一一二
一一三
一一四
一一五
一一六
一一七
一一八
一一九
一二〇
一二一
一二二
一二三
一二四
一二五
一二六
一二七
一二八
一二九
一三〇
一三一
一三二
一三三
一三四
一三五
一三六
一三七
一三八
一三九
一四〇
一四一
一四二
一四三
一四四
一四五
一四六
一四七
一四八
一四九
一五〇
一五一
一五二
一五三
一五四
一五五
一五六
一五七
一五八
一五九
一六〇
一六一
一六二
一六三
一六四
一六五
一六六
一六七
一六八
一六九
一七〇
一七一
一七二
一七三
一七四
一七五
一七六
一七七
一七八
一七九
一八〇
一八一
一八二
一八三
一八四
一八五
一八六
一八七
一八八
一八九
一九〇
一九一
一九二
一九三
一九四
一九五
一九六
一九七
一九八
一九九
二〇〇

宛 次言

總參一電第ニ八九號

支那派遣軍總參謀長

中國陸軍總司令部ヨリ 誠字第ニ〇二號 (二月九日附)ヲ以テ左記ノ
通訓令ヲリテ現地中國關係機關ト密ニ連絡歸還輸送
ヲ處理シテ特ニ內地ニ在リテ部隊ヲ遲滞ナク乗船地ニ集中セシメ以テ
船舶輸送ニ支障ナカシメラレ度
尙、統方面ノ輸送許可ハ銳意折衝中ナリ

記

一、米國側ノ通知ニ依テ各港口毎日輸送量及期日ヲ
基隆毎日六千人還送 高雄毎日四千人還送
右一月一日ヨリ四月十五日迄

0330

12) 上海 毎日 六十人 還送
 右 一月一日ヨリ 五月十五日迄
 13) 塘沽 毎日、三千人 還送
 右 一月一日ヨリ 六月一日迄
 14) 廣州 毎日 四千八 還送
 右 二月十五日ヨリ 四月十五日迄
 15) 海口(註、三重毛使用、答) 毎日 四千八 還送
 右 四月一日ヨリ 五月一日迄
 16) (三重毛用) 毎日 二千迄至 三千人 還送
 右 二月十五日ヨリ 五月一日迄
 17) 海防(註、コラーン毛使用、答) 毎日 四千八 還送
 右 四月一日ヨリ 十月一日迄
 18) 青島 毎日 三千人 還送
 右 八月一日ヨリ 四月一日迄

0331

の東北毎日 一万二千人 還送

右 五月一日 九月三十日迄

二 南京上海地區 日本將兵 居留スル 鐵道ニ依リ上海

輸送シ 安慶地區 病兵及 居留民ヲ 船舶輸送スル 外其他

ハ均シシ 蓋湖迄 行軍シ 爾後 汽車ニテ 上海ニ 輸送 細部 運送

方法 最高 第三 方面 軍 及 第一 戰區 卜 打合 處理 スベシ

四 大通 日本 官兵 蓋湖 今 行軍 八月 四日 迄 少 發 シ 二月 十日

迄 到 達 スベシ 安慶 地區 日本 官兵 蓋湖 今 行軍 八月 六日

迄 少 發 シ 二月 十八日 迄 到 著 スベシ

五 華北 地區 武裝 解除 未了 日本 官兵 八 命 二 遵 ヒ 本月 十日

以前 全部 武裝 解除 スル 共 武裝 完了 官兵 八 命 二 遵 カ 平 津

地區 輸送 集中 言 接 一 語 不明 スベシ

六 濟南 地區 日 軍 及 居留 民 八 命 二 遵 カ 青島 集中 スベシ

0332

華南各地區前記期日ニ應ズル輸送待機準備ニスベシ

七項ハ夫々關係方面ニ命令濟ナリ

運長方轉命スベシ

通電先 各區、海軍、專、天津、青島、連雲

蚌埠、連絡計

參考次官 支復

終

0333



電報

普通電報

報

二七
一一一
〇七五
〇一〇二
〇〇七五
點受發

昭和二十一年二月八日

8

宛 總務課長
中復總電第三〇號

中部復員監部總務課長(大阪)

米軍情報左ノ如シ

- 一 第一軍團司令部ハ一月二十六日京都ニ移駐ス
- 二 名古屋二十五師團司令部ハ大阪ニ其ノ一部ヲ派遣シアリ二十五師團ハ名古屋、大阪、神戸地區ヲ併セテ管轄ストノ情報アリ
- 三 在大阪九十八師團ハ二月十五日解散ノ決定ニシテ兵員逐次歸郷中
- 四 在神戸三十三師團ハ近日歸郷ヲ終ル

(一終)

0334

獲得シ戰意旺盛ニシテ屢々進駐軍ニ對シ積極的ニ攻撃
 シ來リ最近、横軍ヲ急ギアテ男ニ五、四、五、六、七、八、九、十、
 十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、
 二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、
 二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、
 三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、
 四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、
 五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、
 尚若干ノ日本軍人加入シアテモトテ重大器ノ取扱等
 ヲ教授シアル模様
 三邦人 山海関ニ家族 終中セロロ 錦西一ニロロノ内事
 關係セロロ 錦縣ニロロロ 阜新ニロロ 新民ニロロ
 承德ニロロ(内男ハ四ノミ)各地共ニ集團シ治ハ未ダ實
 施シアラルモ蘇軍、現地人、八路軍、國軍ト再三ノ掠
 奪 物品ノ強要ニ遭ヒ生計ノ途全クナク衣類、食料
 道具ヲ貴リ或ハ露天商ヲ營ミ辛ウジテ生命ノ維持
 シアル程度ニシテ寒、餓、ヨリテ 錦縣ニ於テ一日ニ一ニ人ノ
 死亡ヲ出シアリ 從ツテ速カナル歸國スル華北ヘノ脱出

熱望ナリ一部ニ於テハ自棄的態度及甚ク反軍官
民思想ヲ有スルモノアリ

華北保安司令ハ三月ヨリ之等邦人ニ對シ主食及副食
費ヲ支給ノ旨公示セリ

四、現地人ノ日本人ニ對スル態度ハ逐次好轉シツアリ殊ニ
國軍ノ新銳ニハ萬國軍協力進駐トノ宣傳(對中共軍目

的)ハ頗々對日本人態度ヲ改ムニ至ルモノアリ
五、奉山線ハ屢々八路軍ニ妨害セラレツツモ辛ウツテ全通シ

之等鐵路ノ修理補強ハ旧滿鐵日本人社員及邦人カ

強制的ニ若役ニ服シアリ

通靈光 次官 支總

(終)

史実印

昭 號

至急電報

宛 次官

支那派遣軍總參謀長

總參電第五八號

中國陸軍總司令部ヨリ懇望アリタルニ付張鼓峯「ノモハン」
事件ノ資料及教訓並ニ寒地作戰ニ関スル總テノ資料(作戰
戰術教育兵器被服給養衛生等)アラバ至急送附相煩度
至電元次官 甲
(註 資料課處理相成度)

昭三、二、
六五五五、二、
一一、三、三、三、
二一、三、三、
六五五五、二、
二〇

(終)

0338

史実部

大次官
文書科
史料科
史實科
行政科
庶務科
庶務科
庶務科
庶務科

突次官

總參電第 五六號

支那派遣軍總參謀長

二、二、六、五、
一、〇、八、〇、〇、
一、五、五、
〇、〇、〇、〇、〇、

外務省
内務省
陸軍省
海軍省
農林省
商工省
教育省
文部省
司法省
逓信省
勸業省
陸軍省
海軍省
農林省
商工省
教育省
文部省
司法省
逓信省
勸業省

中國領軍ヨリ蔣委員長、命ナリトテ特ニ岡村總司令官宛
八年前蘇州失陥ノ際、右市蔡政坊六號、蔣委員長
姚夫人宅ニ殘置セシ筆、艷ニ收メ保管シテリタル孫總理及
蔣委員長ノ手書老人、事文書其他歴史的文獻所存ヲ
同市占領日軍部隊長其他ニ於テ詳細調査、上來
テ日迄ニ結果報告ナリ、要求セニシタリ
保情報ヲ調査止ムヲ得ザレバ當時、部隊長名及現住所
等ニ至急回報セラレ度

一、東、八、〇

0339

登、要之、金子前、蘇州連絡部長、南込等
照會アリ度
通電光

次官、登

(文書課註、本件法外課ニ研究處理ヲ願度)

0340